基本理念　安全で質の高い医療を提供し、地域から信頼される医療機関を目指します。

あなたの幸せが私達の幸せです
Your HAPPINESS Is Our HAPPINESS
埼玉医科大学のミッション

76
2026 September

埼玉医科大学
総合医療センターニュース





七夕コンサートのようす
2026 年 7 月 11 日

CONTENTS

・脳神経内科ご紹介
・麻酔科ご紹介（手術の前から後まで安全と安心を支える麻酔科）
・小児病棟イベント（七夕・夏まつり）
・RT JOURNAL Vol.39 放射線科
・キッチンカーのご案内

◆ 脳神経内科ご紹介 ◆

脳神経内科　海田　賢一

埼玉医科大学総合医療センター神経内科は 2004 年に開設され、初代教授野村恭一先生が退官された後、2020 年 4 月 1 日に小生がその後任として着任いたしました。2022 年度からは日本神経学会の推奨に従って診療科の名称を「脳神経内科」に変更しています。脳・神経の疾患を内科的専門知識と技術をもって診療する診療科であり、「脳神経外科」の内科側のカウンターパートである、との位置づけを明確にすることを目的として「脳神経内科」への名称変更が行われました。

当科の 2025 年 1 月 1 日から 12 月 31 日までの入院患者数は 304 人で、神経変性疾患（パーキンソン病、多系統萎縮症、筋萎縮性側索硬化症など）、神経免疫疾患（多発性硬化症、視神経脊髄炎、重症筋無力症など）、脳血管障害が中心を占めます（図 1 参照）。このように幅広い疾患に対応していますが、

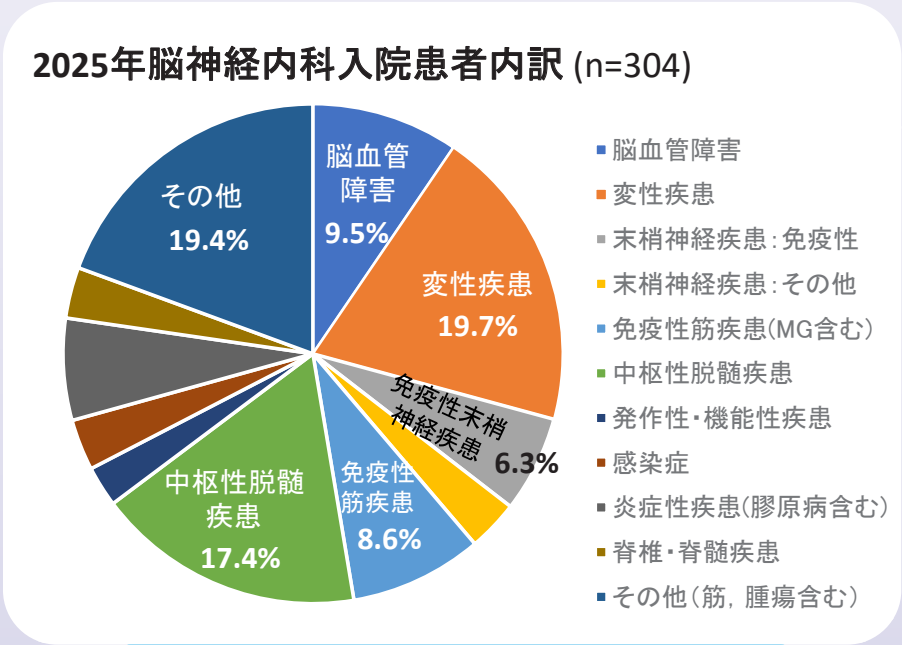


図 1　2025 年 1 月～ 12 月における脳神経内科入院患者の内訳

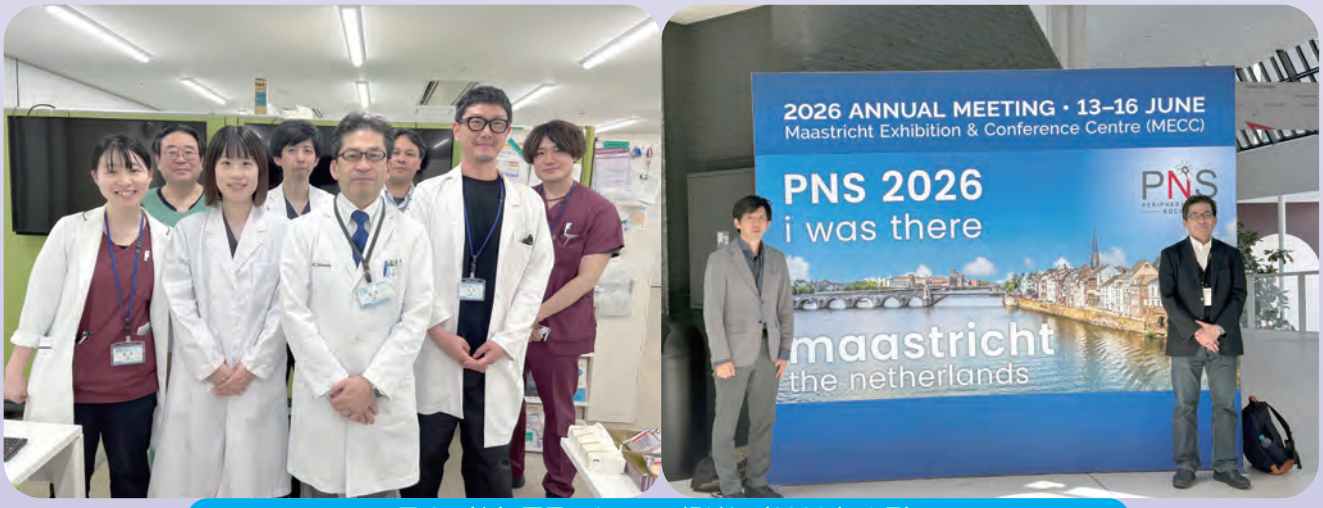


図 2　（左）医局スタッフの顔ぶれ（2026 年 4 月）
教授：海田、准教授：傳法、王子、助教：山元、古川、前田、吉田、西田、本田
（右）国際末梢神経学会（Peripheral Nerve Society meeting）への参加（山元、海田）

稀少疾患であるギラン・バレー症候群、慢性炎症性脱髄性多発ニューロパチーなどの免疫性ニューロパチー（末梢神経障害）の患者さんは全国的にも多く、免疫性神経難病疾患センター的役割も担っています。これらの免疫性ニューロパチーにおいては、当科の研究室で各種自己抗体測定など免疫に関連した病態解析を行っており、迅速な診断に加えて適切な治療選択を行うことが可能です。多発性硬化症、視神経脊髄炎スペクトラム障害、重症筋無力症、免疫性ニューロパチー、辺縁系脳炎等に対して血漿浄化療法、経静脈的免疫グロブリン療法、分子標的薬を用いた高度な先進的医療を実践し、新規薬剤による治験も積極的に行っています。脳血管障害においては、当院は埼玉ストロークネットワークの基幹病院であり、多くの超急性期の患者さんが救急車で搬送されてきます。脳神経外科と協働で血管センターを運営しており、超急性期から回復期までの治療を積極的に行っています。昨年は tPA 静注療法やカテーテル治療による血栓回収療法などを年間 126 件施行、脳神経内科医も術者として治療にあたっています。

外来診療では、多発性硬化症・視神経脊髄炎スペクトラム障害、重症筋無力症、免疫性末梢神経疾患、パーキンソン病、筋強直性ジストロフィー、脳血管障害を対象に専門外来を行っています。初診の際は、お近くの病院、医院、診療所を通じて初診の予約を FAX で取っていただく FAX 紹介システムを採用しておりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

次に地域医療への関わりとして、当科は約 20 の医療施設と連携ネットワークを築き、毎週定期的に連携 Web 会議を行っています。これにより，紹介・逆紹介の連携がスムーズに行われ、近隣医療施設への啓発に繋がっています。研究面では、厚生労働省の難治性疾患等政策研究事業「神経免疫疾患領域における難病の医療水準と患者の QOL 向上に資する研究」研究班（神経免疫班）の一員として病態解明に関する研究活動を継続しています。

根治療法のない慢性神経難病の多くは、地域の医療施設で経過観察となり、定期的な病状評価が難しくなります。そこで慢性神経難病患者さんを対象として、病状変化の評価、環境調整、治療内容の修正を目的に年 1 回を目安に短期評価入院を受け入れています。評価後は紹介元の施設に戻りますが、慢性神経難病の QOL 維持・向上に繋がっており好評です。



図 3　研修医説明会における当科のデモ（神経伝導検査、超音波検査）

◆ 麻酔科ご紹介 ◆
手術の前から後まで安全と安心を支える麻酔科

麻酔科　教授　加藤　崇央

■ 麻酔科とは

「麻酔科」と聞くと、「手術中に眠らせる診療科」というイメージがあるかもしれません。しかし、麻酔科医の役割はそれだけではありません。手術前に患者さんの体の状態を確認し、手術中は呼吸、血圧、脈拍、体温などを絶えず見守り、手術後の状態にも目を配ります。当院麻酔科は、手術麻酔、集中治療、産科麻酔、ペインクリニックを 4 本柱として、幅広い場面で患者さんの命と安心を支えています。

■ 手術の前から後まで支えます

当院では年間 8,000 件を超える手術が行われ、その多くで麻酔科が全身管理を担当しています。手術前には、持病、服用中の薬、アレルギー、これまでの麻酔経験などを確認し、患者さんに合った麻酔方法を一緒に考えます。

手術中は全身の状態を見守ります。手術後は、術後疼痛管理チームが回診して痛みや吐き気などを確認し、問題がある場合には関係するスタッフと連携してフォローします。



■ 重症の患者さんを支える集中治療

救命新棟 2 階の 20 床の一般集中治療室では、年間 2,000 件を超える入室患者さんを診療しています。大きな手術後の患者さんや、呼吸・循環などに集中的な治療が必要な患者さんに対し、主治医、看護師、理学療法士、管理栄養士、薬剤師、臨床工学技士などと協力して診療します。

さらに、多職種連携の中心として院内迅速対応チーム、呼吸サポートチーム、栄養サポートチームを主導し、病院全体の安全を支えています。



GICU_ 診療風景

■ 出産と赤ちゃんを支える産科麻酔

当院には国内でも珍しい 24 時間体制の産科麻酔チームがあり、直近の 1 年間には、帝王切開の麻酔を約 400 件、無痛分娩の管理を約 280 件行っています。産科麻酔外来では約 1,000 件の診察を行い、持病や妊娠中の経過を確認し、出産時に予想される危険性や麻酔方法について、妊娠中から相談しています。

また、妊娠中に必要となった手術の麻酔、お腹の赤ちゃんへの治療に伴う胎児麻酔、不妊治療における採卵の麻酔、出産後に全身管理が必要となった妊産婦さんの診療などにも対応しています。産婦人科や新生児科とも連携し、妊娠中から分娩まで母子の安全を支えています。



産科麻酔 _ 診療風景



手術室 _ 診療風景

■ 長く続く痛みに向き合うペインクリニック

ペインクリニックでは、かわごえクリニックを中心に年間延べ 9,000 件を超える外来診療を行っています。神経痛や腰痛など、長く続く痛みに対して、薬による治療、注射による治療（神経ブロック）、東洋医学などを組み合わせ、一人ひとりに合った治療を考えます。痛みのために日常生活が制限されている方が、少しでも自分らしい生活を取り戻せることを目指します。

■ 患者さんにお伝えしたいこと

麻酔や手術について不安なことは、どんな小さなことでも遠慮なくお話しください。お薬手帳をお持ちいただき、サプリメントを含む服用薬、アレルギー、過去の麻酔で困ったこと、ぐらつく歯や入れ歯などもお知らせください。

手術後の痛みや吐き気も、我慢する必要はありません。患者さんからいただく情報は、より安全で負担の少ない医療につながります。



麻酔科 _ 術前診察風景

■ 受診・相談方法

手術を受ける患者さんは、担当診療科を通じて麻酔科術前外来をご案内します。ペインクリニックを初めて受診される方は、紹介状をご準備の上、かわごえクリニックのペインクリニック外来にお電話いただき、事前にご予約ください。

■ よりよい医療を目指して

当科では、術後の痛みの軽減、心臓手術後の腎機能障害の早期発見、帝王切開後の早期回復など、日々の診療に役立つ研究や医療者の教育にも取り組んでいます。麻酔科は多科多職種をつなぐ診療科として、患者さんが安心して治療に臨み、できるだけ早く日常生活に戻れるよう支えてまいります。

不安や疑問は、どうぞ遠慮なくお尋ねください。



埼玉医科大学総合医療センター麻酔科

“小児病棟（3 階東）で、季節のイベントをおこないました”

❖ 七夕 ❖



6 月 17 日（水）に笹の葉を病棟に出し、子どもたちと一緒に飾り付けをし、星型の短冊に「お願いごと」を記入して飾りました。

小児病棟のお願いごとは、「みんなの願いが叶いますように」と書いて飾りました。入院中の子の短冊は、彦星と織姫を貼り、退院時、お家にお持ち帰りしました。

❖ 夏まつり ❖

7 月 24 日（金）、病棟のプレイルームで夏まつりを行いました。

プレイルームでは、魚つり、わなげ、ボーリング、ヨーヨーつり、射的を行いました。

プレイルームに出られない子は、部屋で金魚すくいや寝相アートを行いました。

入院中で地域のおまつりに行けないけれど、「病棟で夏まつりが出来た。」と喜んでいる子どもたちがいました。

保護者も「寝相アートで写真を撮ったので記念に残る思い出になりました。」と嬉しそうでした。

夏まつりに合わせて甚平さんを着ている子もいたので私たちもほっこりしました。









入院をしていても遊びや季節の行事は、子どもたちにとって、とても大切なことなのでこれからも小児病棟でイベントを行いながら、子どもたちが笑顔になってくれるような場を提供していきたいと思います。

放射線 RT JOURNAL 2026 vol.39

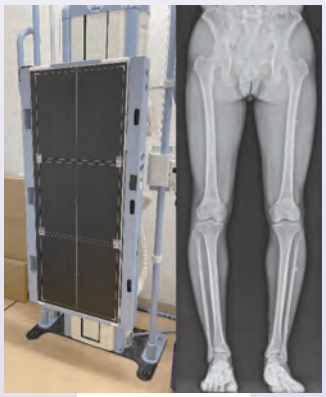
検査前に知っておくと安心！ 一般撮影（X 線撮影）

① 一般撮影（X 線撮影）とは？

一般撮影（X 線撮影）は、放射線を使って体の内部を画像として映し出す検査です。さまざまな部位を短時間で確認することができ、もっとも身近な放射線検査の一つです。当院でも、外来・救急・入院を問わず、幅広く X 線撮影を行っています。

② 当院での一般撮影（X 線撮影）の特徴

当院では、胸部や腹部だけでなく、骨や関節など、さまざまな部位の X 線撮影を行っています。一般的な撮影に加えて、専用装置や撮影補助具を使用した特殊撮影にも対応しており、大きな撮影パネルを使って背骨全体や脚全体を一枚の画像にする撮影や、関節の靭帯損傷やゆるみを調べるために、関節にあえて力を加えて撮る「ストレス撮影」なども行っています。また、さまざまな撮影補助具を活用しながら、安全に検査を受けられるよう工夫しています。



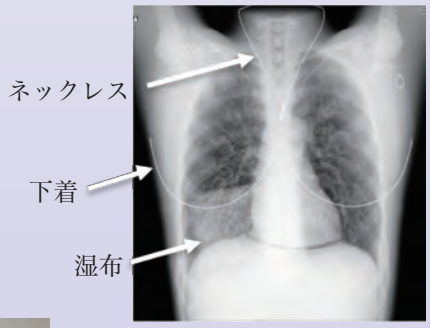
下肢全長撮影

③ よくある質問（Q&A）

一般撮影（X 線撮影）は、多くの患者さんが受ける身近な検査ですが、さまざまなご質問をいただくことがあります。そこで今回は、いただいた質問について、Q&A 形式でご紹介します。

Q. X 線撮影で着替えるのはなぜ？

A. 衣服の装飾（ボタン・金属・プリントなど）が画像に写り込み、正確な診断の妨げになることがあるためです。また、湿布やカイロ、下着の金具なども同様の理由で外していただいています。



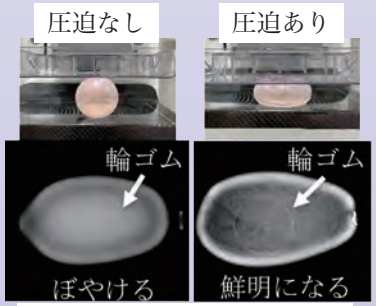
Q. マンモグラフィで圧迫するのはなぜ？

A. マンモグラフィで圧迫するのは、乳房を薄く広げて固定することで、ブレを防ぎ乳房全体を見やすくするためです。さらに、乳房が薄くなることで、撮影に必要な放射線の量を抑えられるという利点もあります。

圧迫により痛みやつらさを感じることがありますが、低被ばくでより正確な診断につながる画像を撮影するため、ご協力をお願いいたします。



マンモグラフィ装置



模型に輪ゴムを入れて撮影

※検査内容によって準備や注意事項が異なる場合があります。詳しくは担当スタッフへお声がけください。

❖ キッチンカーのご案内 ❖

10月2日（金）オープン！ 正面玄関バスロータリー付近に キッチンカーがやってきます

～通院・お見舞いのひとときに、温かく美味しい「ちょっと一息」を～

当院では、患者様やご家族の皆様により快適で心安らぐ時間をお過ごしいただけるよう、新たな取り組みとして10月2日（金）より、**正面玄関バスロータリー付近**にてキッチンカー（移動販売車）の定期出店を開始いたします！

病院での診察待ち時間や会計後のひととき、ご家族のお見舞いや付き添いの合間に、「少し気分転換をしたい」「温かい美味しいものを食べてホッとしたい」と感じられたことはありませんか？そんな皆様の日常に、ちょっとした楽しみと笑顔をお届けします。



✻月替わりで楽しめる！バラエティ豊富な美味しさ

地元で人気の「小江戸川越キッチンカー協会」ご協力のもと、日替わりで個性豊かなお店がやってきます。

●出来立てアツアツの本格ランチ
スパイス香る特製カレーや香ばしいタコライス、お肉の旨味がつまったボリューム満点のランチなど、出来立ての美味しいご飯が揃います。

●手軽に味わえるサンドイッチ＆軽食
香ばしい香りが食欲をそそる焼きたてパンやサンドイッチなど、手軽に召し上がれるメニューも充実しています。

●ホッと和む本格スイーツ＆ドリンク
もちもち食感のクレープや季節の和スイーツ、一杯ずつ丁寧に淹れる香ばしい珈琲など、診察後のご褒美やほっと一息つきたい時にぴったりのカフェメニューも登場します。



出店店舗やメニューは**毎月変わり**ます。「今日はどんなお店が出ているかな？」というワクワク感をぜひお楽しみください。詳しい出店スケジュールや日替わりメニューは、正面玄関に「今月のキッチンカー出店ポスター」を随時、掲示いたしますのでご確認いただきますようお願いいたします。

✻営業のご案内・ご利用方法

●オープン日：2026 年 10 月 2 日（金）
●出店曜日：毎週 **月曜日・水曜日・金曜日**
●販売時間：11：00 ～ 16：00 頃（※商品がなくなり次第終了となる場合がございます）
●販売場所：病院敷地内 **正面玄関バスロータリー付近**
●お支払い方法：現金（全店対応）／ PayPay などのキャッシュレス決済（一部店舗対応）

※患者様およびご家族の皆様におかれましては、テイクアウト（お持ち帰り）でのご利用となります。
お買い求めいただいたお料理やスイーツは、ご自宅やご移動時のお供として、お召し上がりください。





✻皆様のお越しを心よりお待ちしております

病院はどうしても緊張や不安、疲れを感じやすい場所です。

キッチンカーから漂うおいしい香りや出来立てのお料理を通して、皆様の気持ちが少しでも和らぎ、心がふわっと軽くなるような場所になれば幸いです。

通院の帰りに、お見舞いの合間に、ぜひお気軽に正面玄関バスロータリー付近へお立ち寄りください。温かい笑顔と出来立てのメニューをご用意して、皆様のお越しを心よりお待ちしております。



医務課からのお願い

当院では受診の都度保険資格確認をさせていただいております。マイナンバーカードをカードリーダーに通していただくか、資格確認書を窓口へご提示ください。院外処方箋発行の際に、正しい保険情報を転記するためにも、診察前の保険確認にご協力ください。また、緊急時に当院よりご連絡させていただく際、お届けいただいている連絡先が変更となっていることがあります。連絡先に変更があった場合には、お申し出ください。

外来受診について

初めての方

＊ 診療日　月曜～土曜
（日曜・祝日・年末年始を除く）
＊ 診療受付時間　8：30 ～ 11：00
＊ 診療時間　9：00 ～ 17：00

再来の方

＊ 診療日　月曜～土曜
（日曜・祝日・年末年始を除く）
＊ 診療受付時間　8：30 ～ 11：00
（予約の方を除く）
予約以外の 11 時以降の受付はありません。

初めての方、再来の方も午後まで診療を行っておりますが 11 時以降の受付はできません。（再来で予約のある方を除く）また、診療科や曜日によって受付できない場合もあります。

面会者へのお願い

咳・熱などの症状のある方やお子様の面会はご遠慮ください。
面会については病棟にご確認ください。

窓口負担額が変わります。

診療報酬改定により
令和８年６月１日より、
患者さんの窓口負担額が
一部変更になる場合があります。

ご了承くださいますようお願い申し上げます。

アクセス

電車

池袋より東武東上線・東京メトロ有楽町線 30 分　川越駅下車
西武新宿駅より西武新宿線 60 分　本川越駅下車
大宮駅より JR 埼京線 20 分　川越駅下車
大宮駅より JR 高崎線 9 分　上尾駅下車
※下車後、バスまたはタクシーでおいでください。

バス

川越駅東口より東武バス
（上尾駅西口・平方・埼玉医大・川越運動公園行き）
（25 分）埼玉医大総合医療センター下車
JR 高崎線上尾駅西口より東武バス（川越駅行き）
（20 分）埼玉医大総合医療センター下車
市内循環バス「川越シャトル」40系統42系統43系統

車

関越自動車道川越インターより8km、約15分
県道51号線（川越上尾線）沿い

埼玉医科大学総合医療センターニュース　第 76 号　院内配布用
発　行　日　令和８年９月　連　絡　先　医療センターニュース編集局（医務課内）
発　　行　埼玉医科大学総合医療センター　印　　刷　株式会社 ヨーコー
発行責任者　病院長　別宮 好文